

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第50週の発生動向

□ 今週のトピックス

・インフルエンザ (定点把握対象の疾患)

第50週 (12/9~12/15) の定点当たりの報告数は14.8と、今シーズン初めて流行注意報レベル基準値(10.0)を超えた。昨シーズンと比較して3週間早かった。詳細後述。

□ 全数報告の感染症 (50週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：つつが虫病2例。5類感染症：梅毒1例、百日咳2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	90歳代	男	肺結核	発熱
		延岡	60歳代	女	無症状病原体保有者	—
4類	つつが虫病	小林	90歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
		中央	80歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
5類	梅毒	宮崎市	30歳代	男	早期顕症梅毒(Ⅱ期)	梅毒性バラ疹
	百日咳	都城	10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,489人(定点当たり33.2)で、前週比145%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱とヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

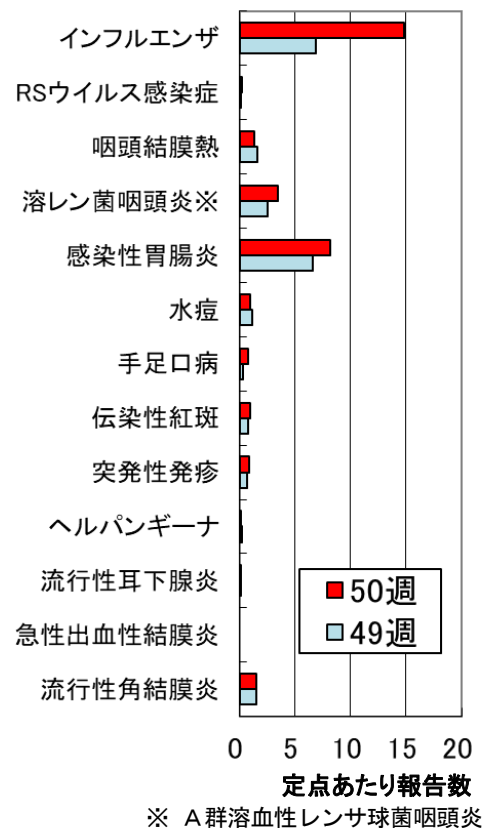
【インフルエンザ】

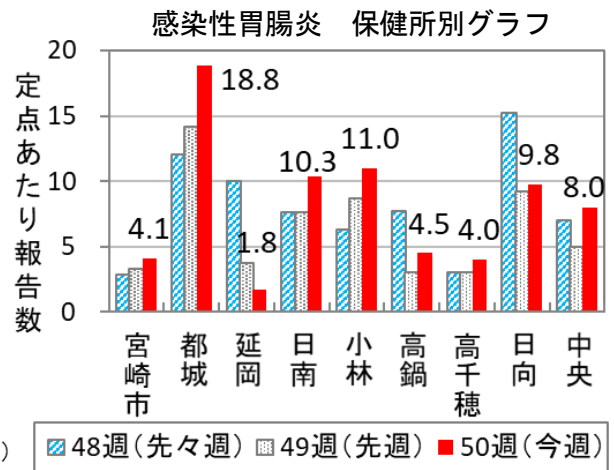
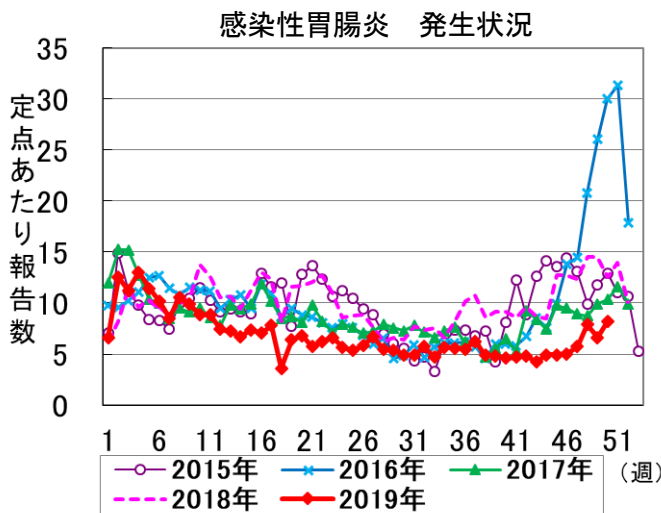
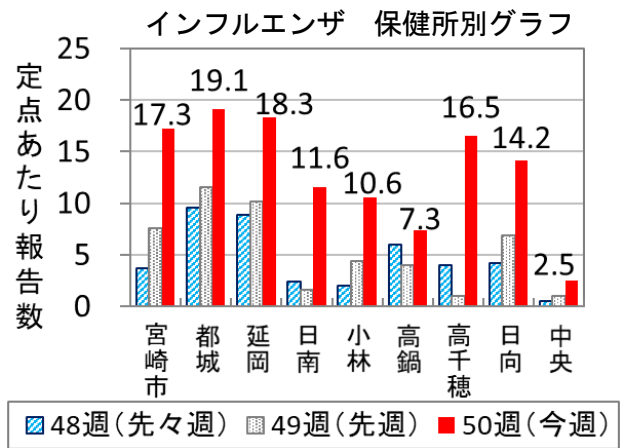
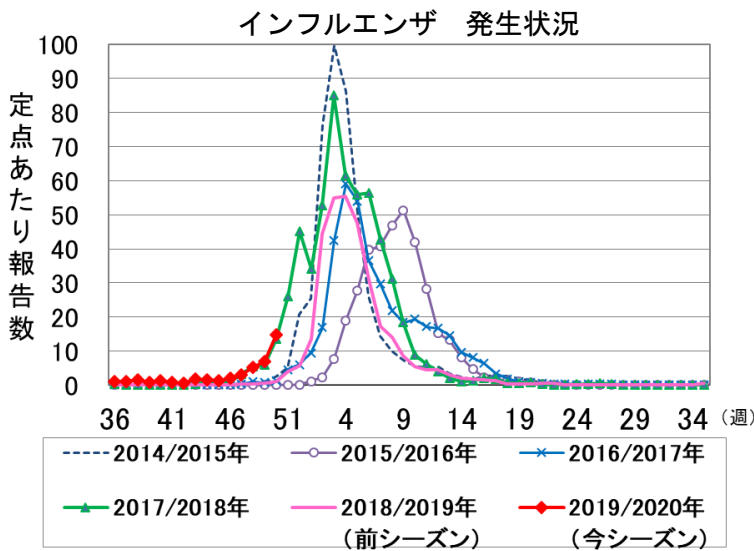
報告数は873人(14.8)で、前週比214%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(4.5)の約3.3倍である。都城(19.1)、延岡(18.3)、宮崎市(17.3)保健所からの報告が多く、年齢群別では10歳未満が全体の約6割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は294人(8.2)で、前週比123%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値*(16.8)の約0.5倍である。都城(18.8)、小林(11.0)、日南(10.3)保健所からの報告が多く、年齢群別では1~5歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値





★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(17.3)、水痘(1.3)
都城	インフルエンザ(19.1)、 伝染性紅斑(2.7)
延岡	インフルエンザ(18.3)、水痘(1.8)
日南	インフルエンザ(11.6)、水痘(1.7)
小林	インフルエンザ(10.6)
高鍋	なし
高千穂	インフルエンザ(16.5)、 咽頭結膜熱(3.0)
日向	インフルエンザ(14.2)
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)

* 流行注意報レベル基準値*

- ・インフルエンザ(10.0)
- ・水痘(1.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和元年12月17日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Bareilly(O7:y:1,5)	5~9歳	女	2019.10.31	発熱(38.0℃)、胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐、腹痛)	便	2019.11.06

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	男	2019. 11. 05	インフルエンザA型、40.3℃	咽頭ぬぐい液	2019. 12. 06
インフルエンザウイルスAH1pdm09	10歳代	男	2019. 11. 18	インフルエンザA型、39.0℃、 下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2019. 12. 06
インフルエンザウイルスAH1pdm09	0～4歳	女	2019. 11. 19	インフルエンザA型、39.6℃	咽頭ぬぐい液	2019. 12. 06
ヒトヘルペスウイルス6	0～4歳	女	2019. 12. 06	けいれん、意識障害、39.7℃、脳炎、脳症	咽頭ぬぐい液	2019. 12. 11
ヒトヘルペスウイルス6	0～4歳	女	2019. 12. 10	けいれん重積、熱性けいれん、脳炎、 脳症、髄膜炎疑い、41.9℃、 下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2019. 12. 13
パラインフルエンザウイルス1型	5～9歳	女	2019. 11. 14	ギランバレー症候群疑い、38.9℃、 下気道炎(気管支炎)、胃腸炎(下痢)、 麻痺、下肢麻痺	咽頭ぬぐい液	2019. 12. 12

全国 2019 年第 49 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 49 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	317 例				
3類感染症	細菌性赤痢	14 例	腸管出血性大腸菌感染症	48 例		
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	5 例	回帰熱	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	45 例	デング熱	5 例
	ボツリヌス症	2 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	35 例
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	27 例
	急性脳炎	15 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13 例
	後天性免疫不全症候群	17 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例	侵襲性肺炎球菌感染症	63 例
	水痘（入院例）	5 例	梅毒	72 例	播種性クリプトコックス症	5 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	199 例
	風しん	7 例	麻しん	3 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 125%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 47,200 人(9.5)で前週比 172%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(3.0)の約 3.2 倍である。北海道(25.1)、青森県(21.9)、富山県(19.3)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約 6 割を占めている。

感染性胃腸炎の報告数は 18,732 人(5.9)で前週比 111%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値*(10.7)の約 0.6 倍である。熊本県(15.3)、群馬県(10.7)、大分県(10.6)からの報告が多く、年齢群別では 1～4 歳が全体の約半数を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週後週（計 15 週）の平均値

📊 月報告対象疾患の発生動向 <2019年11月>

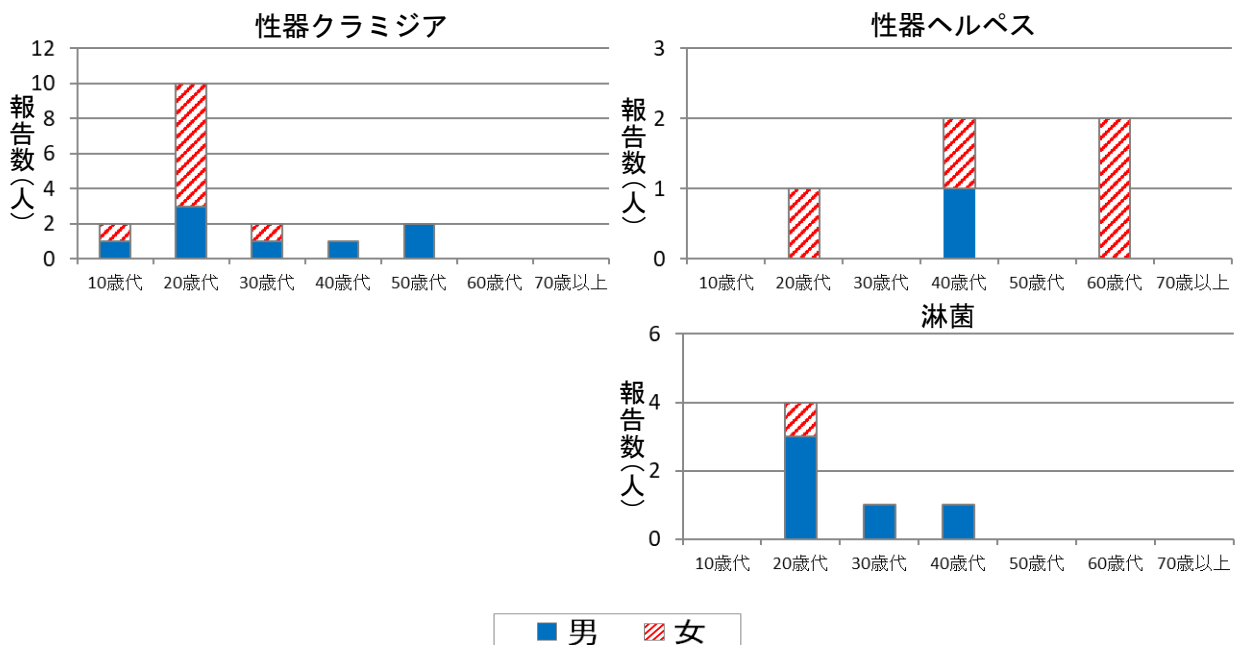
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は28人(2.2)で、前月比80%と減少した。また、昨年11月(2.4)の90%であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数17人(1.3)で、前月の約0.6倍、昨年11月の約0.9倍であった。
20歳代が全体の約6割を占めた。(男性8人・女性9人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人(0.38)で、前月の約1.6倍、昨年11月の約0.7倍であった。(男性1人、女性4人)
- 尖圭コンジローマ：報告なし。
- 淋菌感染症：報告数6人(0.46)で、前月及び昨年11月の約2.0倍であった。(男性5人、女性1人)



【全国】 定点医療機関総数：981

定点医療機関からの報告総数は4,101人(4.2)で、前月比90%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,230人(2.3)で前月比88%、性器ヘルペスウイルス感染症762人(0.78)で前月比92%、尖圭コンジローマ520人(0.53)で前月比95%、淋菌感染症589人(0.60)で前月比88%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は14人(2.0)で、前月比74%と減少した。また、昨年11月(2.0)と同率であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数14人(2.0)で、前月の約0.7倍、昨年11月と同率であった。70歳以上が全体の半数を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：478

定点医療機関からの報告総数は1,496人(3.1)で、前月比98%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,341人(2.8)で前月比98%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症137人(0.29)で前月比88%、薬剤耐性緑膿菌感染症18人(0.04)で前月比133%であった。

疾病名		第49週	第50週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	407	873	276	191	128	58	53	44	33	85	5
	定点当り	6.90	14.80	17.25	19.10	18.29	11.60	10.60	7.33	16.50	14.17	2.50
RSウイルス 感染症	報告数	6	7	1	2			4				
	定点当り	0.17	0.19	0.10	0.33	0.00	0.00	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	59	49	23	11	4	1	1	3	3	3	
	定点当り	1.64	1.36	2.30	1.83	1.00	0.33	0.33	0.75	3.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	92	126	27	28	23	21	7	5		11	4
	定点当り	2.56	3.50	2.70	4.67	5.75	7.00	2.33	1.25	0.00	2.75	4.00
感染性胃腸炎	報告数	239	294	41	113	7	31	33	18	4	39	8
	定点当り	6.64	8.17	4.10	18.83	1.75	10.33	11.00	4.50	4.00	9.75	8.00
水痘	報告数	41	33	13	5	7	5		2		1	
	定点当り	1.14	0.92	1.30	0.83	1.75	1.67	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	12	27	8		14		1	3		1	
	定点当り	0.33	0.75	0.80	0.00	3.50	0.00	0.33	0.75	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	29	36	11	16	5	1		1		2	
	定点当り	0.81	1.00	1.10	2.67	1.25	0.33	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00
突発性発しん	報告数	24	31	8	4	7	4	1	5		2	
	定点当り	0.67	0.86	0.80	0.67	1.75	1.33	0.33	1.25	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	9	1					1				
	定点当り	0.25	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	3			1	1				1	
	定点当り	0.08	0.08	0.00	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	9	6	1	2						
	定点当り	1.50	1.50	2.00	0.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～50週)

2類感染症	結核	189例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	41例	腸チフス	1例
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	31例(2)
	日本紅斑熱	8例	レジオネラ症	8例
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	4例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	4例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	11例
	梅毒	21例(1)	播種性クリプトコックス症	2例
	百日咳	304例(2)	風しん	2例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13例
			クリプトスポリジウム症	1例
			後天性免疫不全症候群	5例
			水痘(入院例)	1例
			破傷風	2例
			麻しん	1例

()内は今週届出分、再掲